

ストーブ火災に注意してください！

寒さが本格化する季節となり、石油ストーブ等の暖房器具を使用する機会も増えますが、使い始めるこの時期から暖房器具を原因とする火災も増加する傾向にあります。

間違った使い方やまわりの環境で、一歩間違えれば火災につながる危険性が高いことから、正しい取扱いを再確認し、火災を予防しましょう。

使用時の注意点



- **給油後は、カートリッジタンクの口金を確実に閉める。**

カートリッジタンクに灯油を補給した後は、キャップの締付け等が完全にされているかを必ず確認し、石油ストーブにセットしてください。



- **給油をする際にはストーブを切る。**

給油をするときには、必ずストーブを切ってください。

また、こぼれた灯油をそのままにしておくと、引火するおそれがあるので、すぐに拭き取ってください。



- **寝るときは、必ずストーブを切る。**

ストーブをつけたまま寝ると、寝返りをうったときなどにストーブに布団が接触し、燃え移るおそれがあります。



- **ストーブの近くに洗濯物などを干さない。**

ストーブの上部や周囲に洗濯物を干したり、紙類やスプレー缶を置かないでください。気付かないうちに落下して衣類に燃え移ったり、引火や爆発の危険があります。

これからの季節は、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなりますので、火の取扱いには十分注意しましょう。



京都中部広域消防組合